

迎春



本年も当組合を
よろしくお願い申し上げます

輝かしい新年を迎えて

今金町農業協同組合 代表理事組合長

小田島 親守



新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。組合員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より組合員の皆様、そしてご家族の皆様をはじめ、関係機関の皆様のご指導、ご支援を賜っておりまして誠に衷心より厚く御礼を申し上げます。

昨年の情勢を振り返りますと、米国のトランプ政権は大統領選挙時の公約通りに環太平洋連携協定（TPP）からの離脱を表明しました。これによって、米国を除くカ国による新協定TPP11がベトナムと日本の主導によって大筋合意となりました。さらに、日EU経済連携協定（EPA）も昨年12月に最終合意がなされ、2019年に発動する可能性もあり、大幅な市場開放による日本農業への影響は避けられない状況となっております。

上述の世界情勢を踏まえ、政府は強い農林水産業の構築のために新市場開拓を推進

し、重要品目の再生産が可能となるために万全の施策を講じ、2019年の農林水産物・食品の輸出額1兆円目標の達成を目指すとしています。それを受けて、一部農業者は「世界への進出を考えるときだ」という声を上げているが、大多数は「国際競争力といっても、輸出にシフトできる農家は少ない。国の支援を強化しなければ、ボディーブローのように響く」と不安を抱えています。そんな中で、私達JAグループは、持続可能な北海道農業の確立に全力で取り組み、国内生産への影響が及ばないよう生産者の不安を払拭すべく必要な対策を政府・関係機関等に求めていく所存であります。

激動の世の中で農業・農協を取り巻く環境は厳しい状況が続きます。また、当町では2025年の農家戸数が166戸と予測（2012年農林業センサスによる動向予測）されており、農業が主な産業である当町の将来に不安な影を落としております。そういった現状を踏まえて、平成30年度営農指導基本方針では、「個々

の農家や地域情勢に配慮した共同活動の推進」と「規模拡大と集約の営農」という2点が近い将来の本町農業にとって最も重要であり、それらの実践のために「地域の課題解決に向けた話し合いを行うことも組合員皆様の今後重要な仕事となっていく」という内容を強調しております。この「個々の農家や地域情勢に配慮した共同活動の推進」とは、第11次中期経営計画にあります「農業倉庫建設に繋がっていきます。農協が倉庫を建設することで出来秋の農産物収容力不足を解消して、それが組合員個々による農産物一時保管用倉庫を建設する負担を軽減し、健全な農業経営の下支えになると考えております。

今後さらなる組合員に必要とされる農協を目指し、役職員一丸となって事業展開して参りますので、皆様の一層の事業結果と協力をお願い申し上げます。

結びに、本年も災害がなくご家族皆様が健康で豊穡の出来秋を迎えることができますよう心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶と致します。

謹んで新春のお慶びを申し上げます
平成三十年元旦

代表理事組合長

小田島 親守

専務理事 内ヶ島 道良

常務理事 大場 倫夫

理事 黒須 隆之

理事 仁木 明

理事 山崎 仁

理事 境田 哲哉

理事 内ヶ島 祐一

理事 水口 仁

理事 成田 正春

代表監事 村本 正義

監事 上野 義則

員外監事 小田島 輝志

管理部長 荒川 英也

経済部長 長浜 隆之

金融部長 安齋 保

営農部長 工藤 裕之

平成30年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会 会長

飛田 稔章



基づき、その着実な実践を図っているところであり本年はその総括年度となります。

組合員並びにJA役職員の皆様方には、ご健勝にて輝かしい平成30年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます次第です。

昨年の北海道農業は、春先は晴れの日が多く、気温も高かったことから農作業・生育も順調でありました。9月中旬以降は、雨の日が多く収穫作業に遅れが発生し、特に9月18日の台風18号によって、全道的にデントコーン・水稻の倒伏、農業施設の損壊などにより、農作物の品質、収量に懸念が生じたところでした。

しかしながら、結果的には、米は、作況指数が103の「やや良」、小麦・

てん菜は、収量・品質とも平年作、生乳は、全般的に安定基調と組合員の皆様の努力の成果が報われた1年となりました。

平成28年9月に4つの台風の影響により、河川の氾濫、農地の流出、関連施設の損壊、停電による生乳廃棄など、全道各地で甚大な農業被害が発生し、その傷も完全に癒えない中ではありますが、昨年元旦に新聞紙上で意見広告を行った『それでも種をまく。』という農民魂のもと、JAグループ北海道は着実に前を向いて歩んで参ります。

一方、国際貿易交渉の状況は、TPP11、日EU・EPA、米国との貿易交渉など、その進展状況と合意内容、農業経営への影響など生産現場に十分伝わっていないこともあり、将来への不安を抱え、担い手の生産意欲の減退が懸念されるところ

です。

農協改革、規制改革では、生産資材価格の引き下げと見える化、牛乳・乳製品の生産・流通においては、新たな加工原料乳生産者補給金制度を盛り込んだ改正畜産経営安定法が成立するなど農業政策対応に追われた1年でありました。

JAグループ北海道は、今後とも必要な農政運動や国民理解へ向けての情報発信、JA経営の基盤を強化し、組合員の皆様の不安を払拭し、持続可能な北海道農業の確立に向け、万全な対応を図って参ります。

さて、現在、JAグループ北海道は、第28回JA北海道大会のメインテーマである「北海道550万人と共に創る力強い農業と豊かな魅力ある農村」の実現に向けた決議事項に

昨年はJAグループ北海道の実践状況について、全体共有を図るとともに実践への機運を高め、JAグループ内外に実践状況を発信すべく、新規担い手倍増と550万人サポート一づくり・准組合員制度をテーマにJA北海道大会実践フォーラムを開催致しました。

引き続き、JAグループ北海道の英知を結集し、北海道550万人から信頼され、ともに歩んでいくJAグループ北海道を目指して参ります。

関係各位の特段なるご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

結びになりますが、今年の干支は戌戌（つちのえいぬ）です。

一説には、戌は、「茂」に通じる意味があり、「植物の成長が絶頂期にある状態」を表しているとのことあります。

今年は、この戌年にあやかり、天候に恵まれ実り多い豊穡の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役職員の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げます、新年にあたってのご挨拶といたします。

第31回 年金友の会『つどい』 盛大に開催！



11月11日、今金町民センターにおいて第31回を迎えたJA今金町年金友の会『つどい』が、220名を超える多くの会員様にご参加いただき、盛大に開催されました。

午前の部は、今金交番の米森所長と相棒の『けんちゃん』により、交通安全と特殊詐欺（オレオレ詐欺）対策についての講話が行われました。特殊詐欺対策ではそれぞれが高齢者役と詐欺犯役に扮し、詐欺の手法と対策をユーモアに富んだやりとりで実演し、会場は笑いと笑顔に包まれました。

午後の部では、道内出身の歌手、大橋美月さんと山本裕美子さんによる歌謡ショーが行われ、迫力ある歌声と楽しいおしゃべりで会場を盛り上げました。

同会は、昭和61年に発足し現在の会員数は約900名。『つどい』のほかにも、お花見旅行や温泉宿泊旅行、パークゴルフ大会などの活動を行っています。

「美味しいね♪」子供たちの笑顔が溢れました♪



JA今金町女性部の部員らが11月17日、町内の小・中学校、へき地保育所、認定こども園を訪れ、「今金産ゆめぴりかのおにぎり」、「今金男しやくの塩煮」、「呉汁」を調理し、児童生徒と一緒にいただきました。

この活動は「ふるさとの恵みとほほ笑みに感謝する日」と題され、町内の子供たちが生産者の作物に対する想いや育てる苦労を知り、「ふるさとの恵み」と「生産者」に感謝する心を育むきっかけとする目的で行われており、今年で10年目を迎えました。

この日の給食に使われた食材は町内の生産者で結成された「今金食材サプライチーム」により無償で提供されました。

地元食材を使った美味しい給食に子供たちの笑顔が溢れました。

JA今金町青年部 「稔りの秋感謝祭」を開催！



11月24日、JA今金町青年部はAコープいまかね店において『稔りの秋感謝祭』を開催しました。このイベントは「旬を迎えた地場産の農産物を町内の皆さんに味わって頂き、その美味しさや季節感を感じ、地場産の良さを改めて知って頂きたい」という想いでJA今金町青年部とJA今金町が合同で企画したもので、地場産のななつぼし、今金男しゃく・今金和牛、人参・玉ねぎを贅沢に使ったカレーライスの試食や、町内産の祝黒大豆とエリモ小豆の量り売り、10月に(株)湖池屋から発売された「今金男しゃく」を使用したポテトチップスの食べ比べなどの催しを行いました。当日はあいにくの吹雪模様でしたが、町内で人気のゆるキャラ「だんしゃくん」も登場し、町内外から訪れた多くのお客様で賑わいました。

第56回 農村女性文化祭が開催されました！



12月1日、今金町民センターにて第56回農村女性文化祭が開催されました。JA今金町女性部部長の鈴木幸子さんの開会挨拶に始まり、仁木由喜江副部長より「東北・北海道JA女性組織リーダー研修」の報告が行われ、演芸発表では着物をリメイクして作った衣装を女性部員らが自ら着用して発表するファッションショーや、漬物研究会のメンバーによる童謡メドレーの合唱、スコップ三味線では津村明美さんが迫力ある歌声を響かせ、会場は大いに盛り上がりました。午後からは江差町の嶽浄山正覚院より松村俊昭住職を講師に招き「人生をもっと楽しむために」と題した講演が行われ、住職のユーモアいっぱいの貴重なお話に、参加した皆さんは真剣に聞き入っていました。

農業後継者激例会が行われました



▲写真前列左から2人目より植田さんと嶋さん

11月30日、平成29年度農業後継者就農激例会が農協大会議室にて行われました。今年度新たに就農した農業後継者は、中里地区の嶋智也さん（経営者・嶋三喜雄さん）と住吉地区の植田竜司さん（経営者・中島忠一さん）の2名です。

当日はJA役職員、JA青年部・JA女性部の役員が出席し、これからの地域農業を支える担い手に励ましと期待の言葉が数多くかけられました。

東京・銀座三越にて今金男しゃくを販売！



11月2・3日の2日間、東京の銀座三越において「ホクレン大収穫祭in銀座三越」が開催され、JA今金町がブースを出店しました。

このイベントは今年で5年目を迎え、北海道の食材を実際に味わうことが出来るレストランフェアや、道内各地の旬の野菜やお米、特産品等の販売を行うマルシェが催されたほか、牛の等身大模型を使った「乳搾り体験」や米の「脱穀体験」なども実施されました。

当日は青年部の苅屋泰裕部長と仁木宏直さんがブースに立ち、今金産の農産物の魅力を伝えました。

料理・おやつ 農業・食べ物

食べ物・農業・いのちのたいせつさがわかる

ちゃぐりんを读もう！

子どもたちが楽しみながら学べる、JAグループの食農教育雑誌です。

フードレンジャー、チャグリンと仲間たちが「ちゃぐりん」を紹介するよ！

読み物・まんが 手作りページ 自然・学習 みんなのページ

イラストや感想を送ってね！「ちゃぐりん」はみんなが参加できる雑誌です。〒652-8448 家の光協会 ちゃぐりん編集部「ちゃぐりん広場」係まで！

そくそく新連載!! カラーページもふえました

農業 自然・学習

「フジタンのあっぱれやさい塾」
「ゆれくる遊撃隊のレッツ防災術」

エッセイ
「おかるさんの牛と米のふるさとから」

手芸
「くにあさんの手芸タイム」

おやつ
「カップとスプーンでパパッと作っていただきます」

読み物
「妖怪は今でもいる?」「会いたい!! 世界の小学生」「杉本深由起のビタミン詩!」

冬休み、春休み、夏休みにあわせて、自由研究にも役立つ別冊付録が付きまします。

1・4・8月号にはお役立ち別冊付録付き

「ちゃぐりん」 定価 (税込) 普通月号 483円 ● 付録月号 (1・4・8月号) 565円
推薦 (公社) 日本PTA全国協議会

JAグループ 家の光協会
TEL 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>

お申し込みはお近くのJAへ

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A北海道中央会

【食と農のイベントを初開催】

「北海道アグリ・フードプロジエクト」が11月に札幌市で

開催され、J Aグループ北海道

も企画主体となりブース出展やステージ企画を実施しました。

道内各地の農畜産物や

加工品の試食・販売をはじめICT関連最新技術

の紹介まで全道の出展者が集まり幅広いブースを

展開。農業関係者や消費者の皆さん等、約8,000人も

の来場者が訪れ、農業の最先端技術に触れる場や、北海道

農業の魅力発信の場としての大きな役割を果たすイベントとなりました。



⇒会場には畑も出現！



J A北海道信連

11月に農業経営者支援の一環として、今年で7回目となる「農業経営フォーラム」を開催しました。

(株)もち米の里ふくれん特産館の堀江代表取締役が「創業からこれまでのあゆみ」を、NPO法人失敗学会の飯野副会長に失敗を成功のもととする『失敗学』をテーマに講演頂きました。

参加者からは「大変勉強になった」「失敗から学ぶことの大切さを教わった」など好評を頂きました。



ホクレン

LINE@等を活用した生産者向け情報発信サービス「ホクレンインフォメーション」では、生産者の皆様に向けたイベントや新商品の情報、生産資材(飼料や農薬など)価格、スマート農業情報などの営農情報をタイムリーに発信しております。

今後とも生産者の皆様に役立つ情報を発信して参りますので、ぜひ、お手持ちのスマートフォンやパソコン

(<http://hokuren-news.jp/>)から登録ください。



↑登録はコチラから



J A共済連北海道

11月22日・23日に開催された「北海道アグリ・フードプロジエクト」で、オリジナルキャラクター「ひとのわぐま」の的あてゲームを実施し、多くの方に楽しんでいただきました。

地域貢献活動の紹介やキャンペーンチラシを景品と共に配布し、J A共済連北海道の活動を知っていただく機会となりました。今後もこのようなイベントを通し、J A共済の周知に取り組んでまいります。



J A北海道厚生連

J A家庭介護教室では、高齢化の進展に伴いさらに増加することが見込まれている認知症高齢者への支援として「認知症サポーター100万人キャラバン運動」を展開し、認知症を正しく理解し支援する「認知症サポーター」

の養成や安心で安全な家庭介護実践のための正しい技術や知識が習得できる講義・実技演習を実施しました。

安心して暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みを継続して参ります。



JA共済

災害への備えは、強い方がいい。

平成29年4月より、
JAの建物更生共済が
新しくなりました!



あの「建更むてき」がさらに安心に、さらにオトクにパワーアップしました。



少ない掛金負担で 満期共済金の
大きな保障が可能となりました。
最大30倍まで保障



実損てん補方式が新登場しました。
加入金額まで損害の額が保障されます!

※所定の条件があります。また、地震などによる損害を除きます。

資金運用プラン

**まとまった資金の確かな運用に
保障がプラス。**

ご契約例〈共済の対象／住宅内収容家財〉

- 住宅物件 ●臨時費用共済金の支払割合10%
- 共済期間10年 ●口座振替扱い ●共済掛金振替払特約付き

満期共済金 500万円 耐火造Aの場合

4,832,438円

一時資金4,826,438円+年払掛金600円×10年

10年後

満期共済金

500万円

年平均利回り **0.34%**

差額 **167,562円**

上記ご契約例の場合

満期共済金	100万円	500万円	1,000万円	耐火造A	100万円	500万円	1,000万円	耐火造B・C	100万円	500万円	1,000万円	木・防火造	100万円	500万円	1,000万円
払込掛金合計	972,814円	4,832,438円	9,649,549円		976,660円	4,845,324円	9,672,490円		976,660円	4,845,324円	9,672,490円		998,498円	4,920,250円	9,805,453円
差額	27,186円	167,562円	350,451円		23,340円	154,676円	327,510円		23,340円	154,676円	327,510円		1,502円	79,750円	194,547円
年平均利回り	0.27%	0.34%	0.36%		0.23%	0.31%	0.33%		0.23%	0.31%	0.33%		0.01%	0.16%	0.19%

※1. 年払掛金を一括でお支払いいただくこと(前納)はできません(口座振替をご利用ください)。※2. 年平均利回り=(満期共済金-払込掛金合計)÷払込掛金合計÷共済期間(10年)×100(小数点以下3桁目を切り捨てて表示しています(税引前))。※3. 満期前の解約は元本割れすることがあります。※4. 払込掛金と満期共済金の差額は一時所得として所得税等・住民税の対象となります(平成29年1月現在の法令にもとづき記載しています)。※5. 臨時費用共済金:火災等や風災・ひょう災・雪災・水害により損害を受けたときに生じる臨時の費用に対して、火災・風水災等共済金の額の10%(または30%)をお支払いします(1回の事故につき、1建物について250万円が限度です)。

●この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際は、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

●お問い合わせは

JA今金町 金融部共済課

TEL 82-0211